

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童サポートセンターわたぼうし		
○保護者評価実施期間	2025年11月10日		～ 2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66 (回答者数)	45
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・通所支援事業所としての長年の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同伴の運営形態をとっている ・児童発達支援と放課後等デイサービスの両方のサービスを提供している(多機能型事業所) ・保育と訓練、個別と集団に分けたサービスを提供している ・保育は、年齢別クラス分けを行っている ・保育士、児童指導員、OT、ST、PT、心理師など、あらゆる支援の種類に応じた職員を配置している ・音楽療法、3B体操などの療法も取り入れている ・嘱託医師による定期健康診断(保育)を行っている ・独自の予約管理システムを導入している 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営団体である淡路広域行政事務組合と支援業務を受託している洲本市との連携をとりながら、サービスの質の維持・向上に努める
2	・保護者同伴通園	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対しても療育の指導、相談、支援を行っている ・保護者会を設置し、保護者同士の交流(情報交換、研修等)を図っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の行事の一つであるおしゃべり会(勉強会)の内容の充実に努める
3	・小集団保育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園同様年齢別クラス分けの保育を行うことにより、地域の保育園にスムーズに通園できるよう支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムの工夫と充実に努める
4	・訓練士の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の訓練時間を、児童が集中しやすい40分に設定している ・支援の幅を広めるため、音楽療法士や体操指導員等を配置している 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上のための研修等の確保に努める
5	・特別支援学校、リハビリ専門学校、一般病院との協力関係	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校と病院とは業務委託契約を結び、専門職員を派遣してもらっている ・専門学校の実習生を受け入れている ・施設管理者が支援学校運営協議会の委員に就任している 	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべり会(勉強会)や内部職員研修に、左記専門職員を講師として依頼する
6	・インターネットを活用した予約管理システム	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が予約状況を確認するだけでなく、利用者に対し、一斉メール(データ添付機能付)による各種情報の発信や、大雨等非常時における緊急連絡等もを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョンアップだけでなく新規機能の構築など、システムの更新を図っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者にとっての時間的拘束・制約	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、保護者同伴通園可能な者としている 	<ul style="list-style-type: none"> ・同伴通園のメリットの周知に努める
2	・地域保育園、地域住民との交流の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保育園の理解 ・ボランティアを含めたイベント運営スタッフの減少 ・交流に参加する利用者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の中に、地域ボランティアの人の活動を取り入れることの検討。